

就学前教育研究プロジェクト



こどもみらい館

報告者 : 主任主事 柳生 和代

目的

- 乳幼児期の教育・保育の相互理解
- 遊びを中心とした生活の中での学びを調査
- 大切に育てたいもの, そのために保育者は何を大切にしていけるかを考察

これまでの取組

平成16年度, 17年度(第1期第1次)

テーマ

遊びの中の学びの芽



民営保

市営保

私立幼

市立幼

国立幼

これまでの取組

平成16年度, 17年度(第1期第1次)

確認事項

- 乳幼児期に大切にしたいことや育てたいと願っていることは同じ
- 事例を通して遊びの中に学びがあることの確認

これまでの取組

平成16年度, 17年度(第1期第1次)

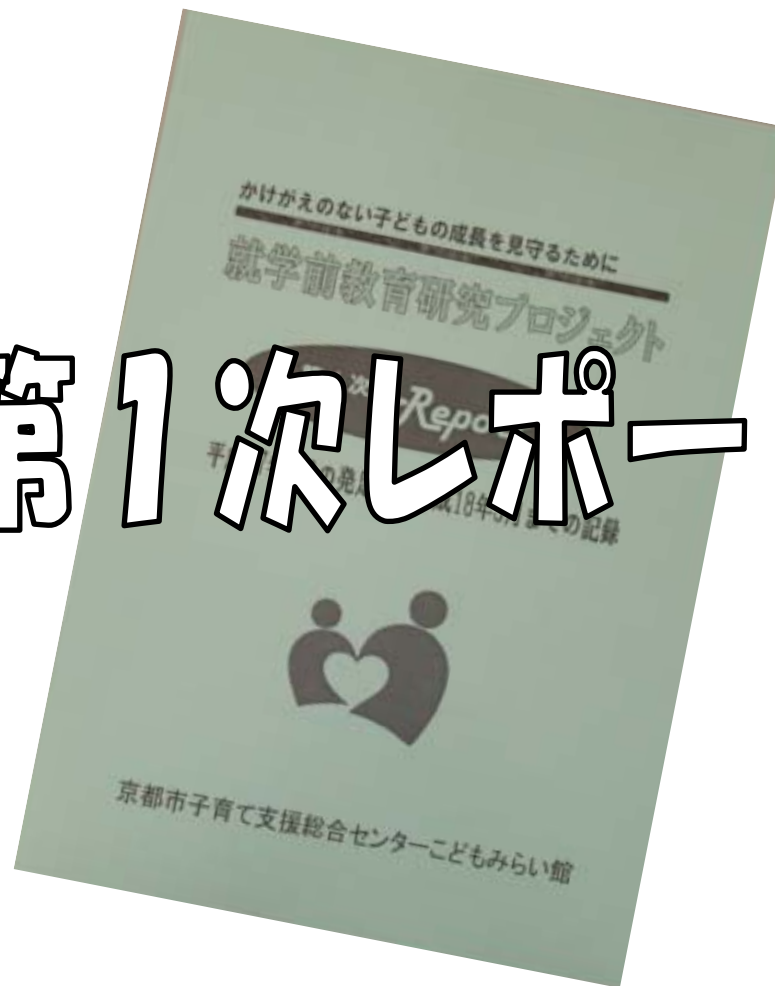
次への課題

- 子どもの姿から育ちや学びを読み取れる保育者の資質
- 実践の中での保育者のあるべき姿

これまでの取組

平成16年度, 17年度(第1期第1次)

第1次レポート



これまでの取組

平成18年度(第1期第2次)

テーマ

幼児期につけておきたい力



民営保

市営保

私立幼

市立幼

国立幼

これまでの取組

平成18年度(第1期第2次)

幼児期につけておきたい力

協調性

基本的生活習慣

社会性

自尊感情

自分の気持ちを相手に伝えられる力(表現力)

話す力, 伝える力, 聞く力(コミュニケーション力)

生きものとかかわることが好き

思いやる(お互いを認め合う)心

遊ぶ力, 創造する力

集中力

これまでの取組

平成18年度(第1期第2次)

確認事項

つけておきたい力

経験を通し
自ら気づき
行動し
子ども自らが
つけていく



- ねらいをもった意図した環境づくり
- 気づきを待ち変化に気付く
- 仲間関係を築く
- 保護者へ何が大切か伝える



これまでの取組

平成18年度(第1期第2次)

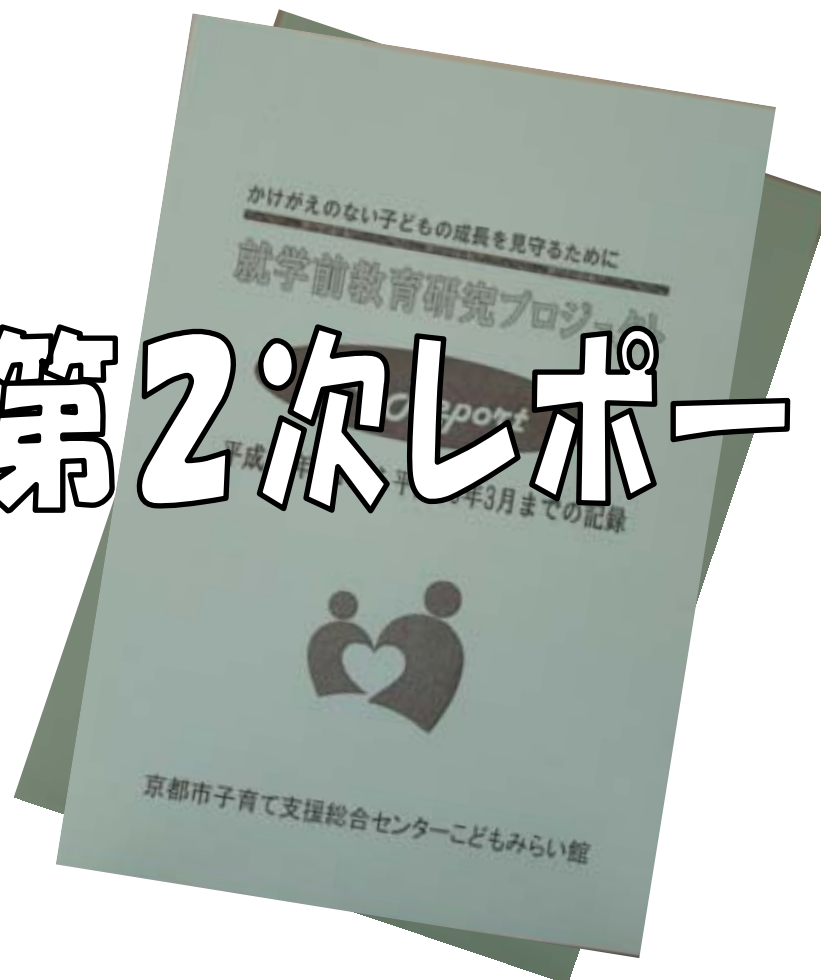
次への課題

- 確認事項の行動提起

これまでの取組

平成18年度(第1期第2次)

第2次レポート

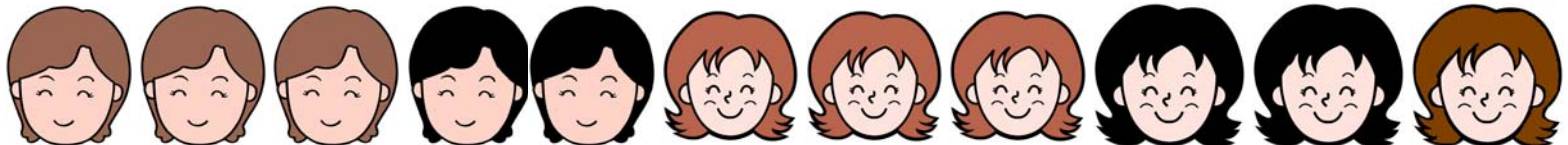


これまでの取組

平成19年度(第2期)

テーマ

「幼児期につけておきたい力」
を育むためには、どのような
環境や保育者の援助が必要か



民営保

市営保

私立幼

市立幼

国立幼

これまでの取組

平成19年度(第2期)

確認事項

- 「子どもの心を育む」視点に立った環境構成や援助
- 就学前 → 0歳からの連続した育ち

20年度の取組

テーマ

子どもの心の育ち



民営保

市営保

私立幼

市立幼

国立幼

20年度の取組

これまでの方法の利点と課題

- 事例は形式を問わない
- 当日持ち合う

利点

- 新鮮で熱く語れる
- 話し合いは楽しく
膨らみ広がる

課題

- 観点が絞りにくい
- テーマに深く切り
込んでいきにくい

20年度の取組

方法の工夫

- 事例を最初に持ち寄り, 事前に読んでおく
 - 「基本的生活習慣」の場面で
 - 「人とのかかわり」の場面で
 - 「生命の大切さに気付く」場面で

20年度の取組

方法の工夫

- 事例を最初に持ち寄り, 事前に読んでおく
- 事例をエピソード記述で描く
 - 「なぜこの事例を取り上げたのか」
 - 「子どもの背景」
 - 「子どもの姿と保育者のかかわり」
 - 「子どもと保育者の心の動き」

20年度の取組

方法の工夫

- 事例を最初に持ち寄り, 事前に読んでおく
- 事例をエピソード記述で描く
- グループに分かれての討議
- 討議シートの使用

20年度の取組

討議シート

現状分析		他に考えられるかかわり	
保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き	保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き
変化があったこと		エピソードから見えてくる大切な視点	
子ども(保護者) の変化	保育者の心の 動き		

20年度の取組

A先生のエピソード記述

- 場面：人とのかかわり

グループに分かれて保育室の壁面に飾る
アジサイを紙で作る

- 取り上げた理由

子ども同士で話し合い、グループ活動を進めていくことができた

20年度の取組

A先生のエピソード記述の討議シート

現状分析		他に考えられるかかわり	
保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き	保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き
変化があったこと		エピソードから見えてくる大切な視点	
子ども(保護者) の変化	保育者の心の 動き		

20年度の取組

A先生のエピソード記述の討議シート

現状分析	
保育者の願いとかかわり ・ 自分たちで進めてほしいので、子どもたちにまかせよう。 ・ 自分の思いを出してほしい。 ・ 困っている友達に気づき、助け合ってほしい。	子どもの心の動き ・ C児が伸び伸びと意見を言っていた。 ・ G児が友達に助けてもらいホッとしている。 ・ できたものに愛着をもっている。

20年度の取組

A先生のエピソード記述の討議シート

現状分析		他に考えられるかかわり	
保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き	保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き
変化があったこと		エピソードから見えてくる大切な視点	
子ども(保護者) の変化	保育者の心の 動き		

20年度の取組

A先生のエピソード記述の討議シート

他に考えられるかかわり	
保育者の願いとかかわり ・ グループの人数・メンバーの工夫。 ・ ねらいに添った活動内容。	子どもの心の動き ・ 今まで以上に自分を出しやすい。 ・ 新たな友達関係が広がる。 ・ やり遂げた達成感や満足感が得られる。

20年度の取組

A先生のエピソード記述の討議シート

現状分析		他に考えられるかかわり	
保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き	保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き
変化があったこと		エピソードから見えてくる大切な視点	
子ども(保護者) の変化	保育者の心の 動き		

20年度の取組

A先生のエピソード記述の討議シート

変化があったこと	
子どもの変化 ▪ 製作が得意なG児が動き出さない。 ▪ 友達の誘いかけにより、G児がやり始めた。	保育者の心の動き ▪ G児の評価が気になる一面の発見。今後の課題。

20年度の取組

A先生のエピソード記述の討議シート

現状分析		他に考えられるかかわり	
保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き	保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き
変化があったこと		エピソードから見えてくる大切な視点	
子ども(保護者) の変化	保育者の心の 動き		

20年度の取組

A先生のエピソード記述の討議シート

エピソードから見えてくる大切な視点

- ・ どこまで子どもにまかせ、どこから援助するかの見極めの大切さ。
- ・ グループ構成、教材、材料など環境構成の見直しの大切さ。
- ・ 子どもに何を育てるかを根底とした環境構成と援助の大切さ。
- ・ 他の保育者と話し合い、改めて自分の保育を見直す大切さ。

20年度の取組

B先生のエピソード記述

- 場面：基本的生活習慣

子育ての方法について強く自分の思いをもっておられる保護者とのやりとり

- 取り上げた理由

保護者との信頼関係を築いていく過程や子どもが安心して園(所)で過ごすことについて改めて考えることができた

20年度の取組

B先生のエピソード記述の討議シート

現状分析		他に考えられるかかわり	
保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き	保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き
変化があったこと		エピソードから見えてくる大切な視点	
子ども(保護者) の変化	保育者の心の 動き		

20年度の取組

B先生のエピソード記述の討議シート

現状分析	
保育者の願いとかかわり ・ 園(所)側の考えを伝えたい。 ・ まずは、信頼関係を築く。 ・ 保護者の思いを受け止める。 ・ 園(所)内で話し合い、受け入れる。	保護者の心の動き ・ 自分の子育ての方法をそのまま園(所)でもしてほしい。 ・ 受け入れてもらっていない。 ・ 受け止めてもらえた。 ・ 子どもが変わる → 母の笑顔

20年度の取組

B先生のエピソード記述の討議シート

現状分析		他に考えられるかかわり	
保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き	保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き
変化があったこと		エピソードから見えてくる大切な視点	
子ども(保護者) の変化	保育者の心の 動き		

20年度の取組

B先生のエピソード記述の討議シート

他に考えられるかかわり	
保育者の願いとかかわり	保護者の心の動き
▪ 入園(所)説明会の段階で、まずは受け入れる。 ▪ 他の方法を保護者と一緒に考える。	▪ 受け入れてもらえたことで、安心する。

20年度の取組

B先生のエピソード記述の討議シート

現状分析		他に考えられるかかわり	
保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き	保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き
変化があったこと		エピソードから見えてくる大切な視点	
子ども(保護者) の変化	保育者の心の 動き		

20年度の取組

B先生のエピソード記述の討議シート

変化があったこと	
保護者の変化 ・ 目を見て話をしてくれる。	保育者の心の動き ・ まずは、保護者の思いを受け止める。 ・ 園(所)内で話し合い、園(所)のねらいも伝えながら返していく。 ・ 答えを与えるのではなく、一緒に考える。

20年度の取組

B先生のエピソード記述の討議シート

現状分析		他に考えられるかかわり	
保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き	保育者の願いと かかわり	子ども(保護者) の心の動き
変化があったこと		エピソードから見えてくる大切な視点	
子ども(保護者) の変化	保育者の心の 動き		

20年度の取組

B先生のエピソード記述の討議シート

エピソードから見えてくる大切な視点

- 思いを一旦受け止める。言葉の背景を読む。
- 「子どもの育ち」を根底にして考える。
- 共に考えていく姿勢をもつ。
- 子どもが育っている様子を丁寧に伝える。
- 他の保育者から様々な情報, アドバイスをもらう。

20年度の取組

討議シートの効果

- 話し合う観点の焦点化
- 子ども(保護者)の心の動きの読み取り
- 保育者の願いの意識化
- 視点をかえた環境構成や援助の提案

20年度の考察と今後の課題

エピソード記述と討議を通して見えてきた
保育の視点

- 子どもへのかかわり
- 保護者へのかかわり
- 組織的な振り返り

20年度の考察と今後の課題

保育の視点

子どもへのかかわり

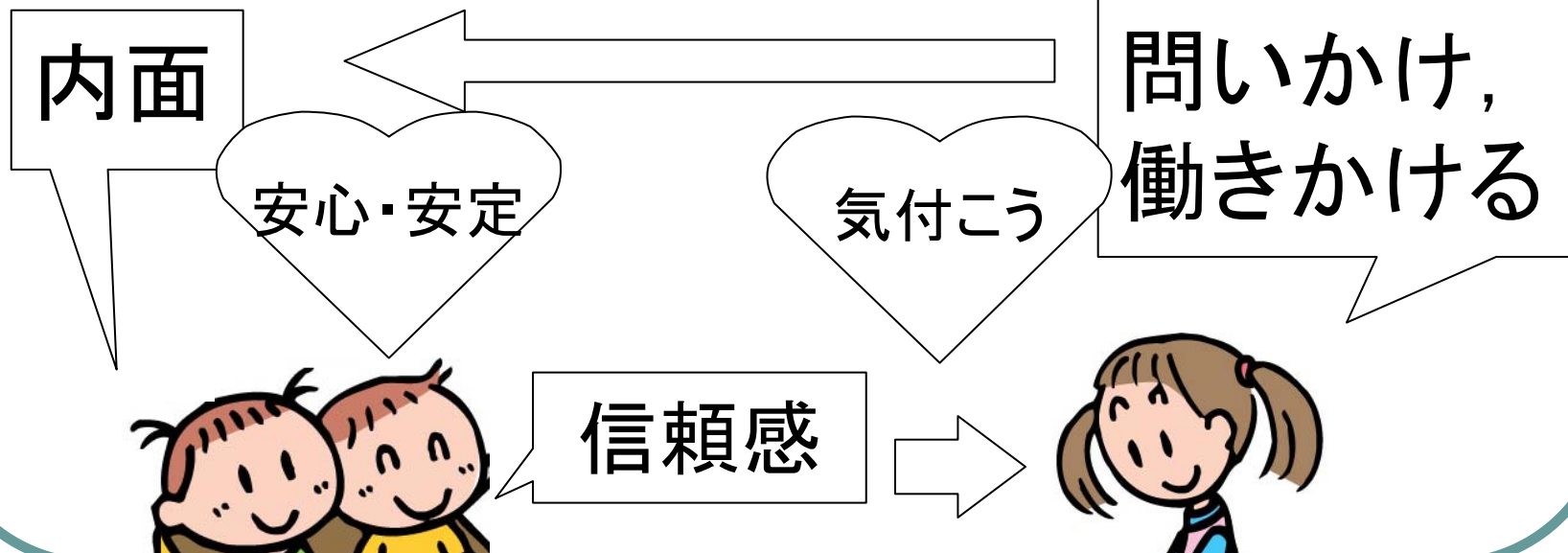
- 信頼関係
- 子ども理解
- 心の育ちの視点
- 体験を通して

20年度の考察と今後の課題

保育の視点

子どもへのかかわり

信頼関係



20年度の考察と今後の課題

保育の視点

子どもへのかかわり

子ども理解

子どもの姿

本来の自分
を出す



プラス面

ありのままを
受け止める



20年度の考察と今後の課題

保育の視点

子どもへのかかわり

心の育ちの視点

やってみよう

もう一回

次へも挑戦

心の育ち

適当な環境



20年度の考察と今後の課題

保育の視点

子どもへのかかわり

体験を通して

折り合いをつける

自分なりの考え

心が動く

知的
好奇心

規範意識

生命を大切
にする気持ち



20年度の考察と今後の課題

保育の視点

保護者へのかかわり

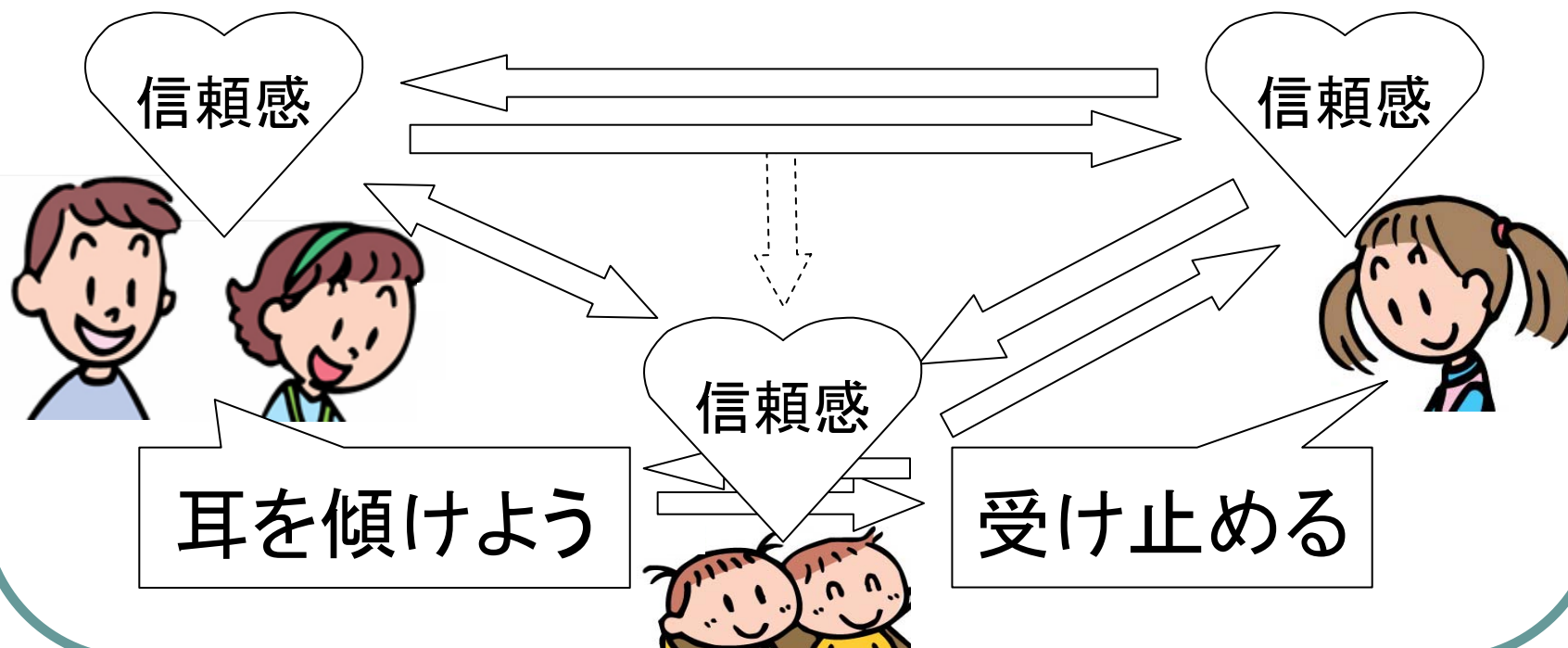
- 信頼関係
- 共に育む

20年度の考察と今後の課題

保育の視点

保護者へのかかわり

信頼関係



20年度の考察と今後の課題

保育の視点

保護者へのかかわり

共に育む

一緒に考えていこう



20年度の考察と今後の課題

保育の視点

組織的な振り返り

- 心の育ちの視点での保育の見直し
- 園(所)内での保育目標の共有

20年度の考察と今後の課題

保育の視点

組織的な振り返り

心の育ちの視点での保育の見直し

心の育ち

意欲

取り組む
姿勢



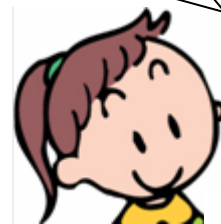
20年度の考察と今後の課題

保育の視点

組織的な振り返り

園(所)内での保育目標の共有

「こんな子どもに」
願いの共有



就学前教育研究プロジェクトの 考察と今後の課題

- 保育園(所)・幼稚園, 私立・市立・国立の枠を超えた相互理解と共同研究
- エピソードを通じた相互研鑽

就学前教育研究プロジェクトの 考察と今後の課題

保育園(所)・幼稚園, 私立・市立・国立の
枠を超えた相互理解と共同研究

育てたいことは一緒



就学前教育研究プロジェクトの 考察と今後の課題

保育園(所)・幼稚園, 私立・市立・国立の
枠を超えた相互理解と共同研究

0歳からの育ちの連続性



就学前教育研究プロジェクトの 考察と今後の課題

保育園(所)・幼稚園, 私立・市立・国立の
枠を超えた相互理解と共同研究

保育園(所)

生活面の援助の細やかさ
保護者とのかかわりの密度の濃さ



就学前教育研究プロジェクトの 考察と今後の課題

保育園(所)・幼稚園, 私立・市立・国立の
枠を超えた相互理解と共同研究

遊びの捉え方, 遊びを中心
とした環境・援助の深さ

幼稚園



就学前教育研究プロジェクトの 考察と今後の課題

保育園(所)・幼稚園, 私立・市立・国立の
枠を超えた相互理解と共同研究

知り合う

認め合う

刺激し合う

学び合う

子ども理解

保育者としての資質の向上・保育の充実



小学校との相互理解



就学前教育研究プロジェクトの 考察と今後の課題

エピソードを通した相互研鑽

話し合いの焦点化



活発な発言



保育者の自信へ

意見交換



気持ちの共有



チームワーク

保育者自身の自尊感情
保育への喜びや楽しさ
認め合い協力し高め合う保育

就学前教育研究プロジェクトの 考察と今後の課題

エピソードを通じた相互研鑽

自ら描く

保育の
振り返り

次の保育
へ還す

- ・ 保育者としての資質の向上
- ・ 保育の充実

様々な視点



最後に

